

Camponotus cruentatus

(Latreille, 1802)

ガスターにさび赤色の帯を持つ、つやのない黒色の地中海の大型種で、小さいうちは臆病ですが、コロニーが育つと激しい縄張り意識を見せます。



写真：Jonghyun Park, CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

25-30 °C

巣の中



巣の湿度

40-60 %

巣の中



休眠

10-15 °C

11月 - 2月



結婚飛行

6月 - 7月

暑い日、穏やかな天気



働きアリ

6-10 mm

大型働きアリは最大15 mm



女王

15-18 mm

女王は1匹



コロニーの規模

働きアリ3,000匹規模

成長速度：速い

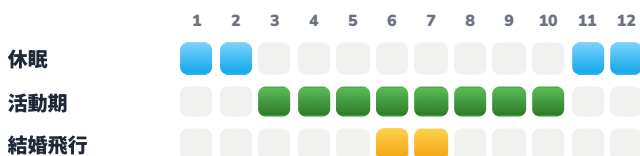


脱走リスク

中程度

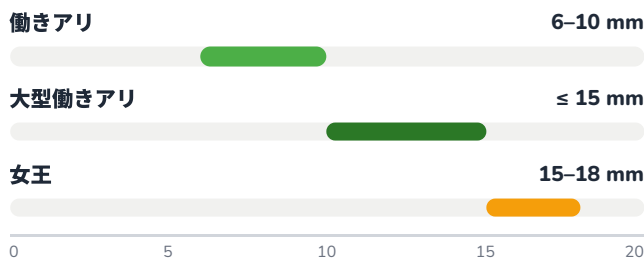
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- アクリル製の巣
- 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

飼育者からのメモ

ヒント

暖かい側と涼しい側を作りましょう。たとえば、巣の片側にヒートマットを沿わせます。コロニーはブルードを暖かい場所へ移し、涼しいままの巣では成長が止まったという報告が、複数の飼育者から寄せられています。

注意

アウトワールドは乾燥させ、巣には湿った部屋を1つ用意しましょう。水をやりすぎた巣では、働きアリが死んでカビが生えたと飼育者が報告しています。一方で、ほとんど乾いた巣のせいで女王アリがほとんど卵を産まなかったと考える飼育者もいて、巣を再び湿らせたら改善したそうです。